

部 局	(危機管理課)	補 職	都市経営部長	氏 名	藪床 和弘
-----	---------	-----	--------	-----	-------

1. 部局の使命

“自助・共助・公助”が築く安全・安心のまち とよなか
 「自らの命は自らが守る『自助』、自分たちのまちは自分たちで守る『共助』、行政による『公助』」の相互連携のもと、いざという時、市民、事業者、行政が、それぞれの役割を果たし、豊中市全体として危機事態への迅速かつ的確な対応が図られるよう取り組み、安全・安心なまちづくりを押し進める。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) 災害対応力の強化 大規模災害などの危機事態に対して、すべての組織の力が発揮できるよう対策を充実させます。特に職員一人ひとりが、災害時の役割を認識し、日ごろから準備や訓練を通して危機事態に対処できるよう災害対応力を強化します。 また、近年、災害が頻発していることや感染症対策を踏まえ、災害対応の在り方や避難所開設手法等の検討を行うとともに、デジタル・ガバメント戦略に基づき、デジタル技術の活用を図り、災害対応力を強化します。</p> <p>(2) 地域の防災力の向上 さまざまな場・機会や媒体を通して、市民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みます。また、災害時に小学校は重要な防災拠点となりますが、地域のつながり作りや防災力の向上をめざして、小学校区単位で取り組まれる地域ぐるみの自主防災活動への支援を充実します。 避難行動要支援者の安否確認や避難支援に備えるため、地域における避難支援体制の構築をめざします。</p> <p>(3) 地域の防犯力の向上 地域の安心・安全のため『暮らし安心・安全見守りカメラ』の維持・管理を行うとともに、防犯力向上のため、地域における防犯活動の支援を行います。</p>	<p>○地震及び台風等に伴う災害はありませんでしたが、台風第14号の接近に伴い、風水害対策本部を設置して対応に当たりました。また、出水期に先立ち市内の土砂災害警戒区域等を巡視し、異常の有無の確認を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策に対しては、国及び大阪府の決定事項を踏まえ、遅滞なく豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報の共有と対応方針の決定を行いました。</p> <p>○洪水、内水、津波、高潮、土砂災害等の風水害時の浸水想定区域や浸水深、風水害への事前の備えや大雨時のとるべき行動、避難施設等を記載した総合ハザードマップの点訳版・音訳版を作成し、対象者に配布しました。</p> <p>○災害時の対応強化を図るため、民間事業者と応援協定等（6件）を締結しました。</p> <p>○自主防災活動の支援では、とよなか防災アドバイザー派遣、防災出前講座の実施、防災訓練の支援を行いました。</p> <p>○避難行動要支援者対策については、避難支援等関係者へ名簿を提供するとともに、福祉部と連携し、避難支援等関係者が実施する訓練への支援を行うとともに、モデル校区において個別避難計画の作成にかかる検証を行いました。</p> <p>○犯罪の早期解決のため、見守りカメラ等の画像を迅速に捜査機関へ提供しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対策の推進</p> <p>(1) 情報収集と庁内連携体制の確立 ①新型コロナウイルス感染症対策本部の運営【随時】 ②緊急事態措置等に係る大阪府との連携・調整【随時】</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策にかかる取組みの検証 ①庁内各部局ごとに2年間の取組みをまとめ、効果や課題を整理</p>	<p>○政府及び大阪府の決定事項を踏まえ、豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報の共有と対応方針の決定を行うとともに、必要となる業務の調整等を行いました。</p> <p>○庁内の協力体制のもと、広報周知活動を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策業務に係る令和2年度・令和3年度の事業評価を行いました。</p>	<p>○5月8日に感染症法上の分類が5類に移行するため、市の本部体制を解除します。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策業務に係る令和4年度の事業評価を行います。</p>
	<p>総合計画</p> <p>0-0-0</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	災害時における対応力強化	<p>○課長級対象研修(コロナ禍のため動画配信で実施)及び新規採用職員研修を実施しました。</p> <p>○避難情報の判断・伝達マニュアルを更新しました。</p> <p>○災害対応マニュアル及び業務継続計画を更新しました。</p> <p>○豊能地区3市2町合同防災訓練は、分散型で図上訓練を行いました。</p> <p>○備蓄物資は、整備計画に基づき整備を行いました。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、小・中学校12施設と協議し、簡易ベッド、簡易テント、不織布毛布の配備場所を確保しました。</p> <p>○『豊中市総合ハザードマップ』の点訳版・音訳版を作成し、対象者に配布しました。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルとして新たに1施設を追加しました。</p> <p>○被災者台帳のデジタル化に向け、関係部局と検討を行いました。</p> <p>○旧猪名川に河川監視カメラを設置しました。</p>	<p>○新規採用職員及び管理職を対象とした研修を実施します。</p> <p>○市と自主防災組織が一体となった総合防災訓練を実施します。</p> <p>○備蓄物資については、引き続き計画的に整備を進めます。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、全小・中学校への簡易ベッド、簡易テント、不織布毛布の配備を図ります。</p> <p>○総合ハザードマップ等を用いて、災害リスクの周知を図ります。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルを拡充します。</p> <p>○災害時のデジタル技術の活用を推進します。</p>
	<p>(1) 訓練や職員研修等を通じて職員の災害対応力を強化します。</p> <p>①災害対応に係る新規採用職員研修【4月】</p> <p>②避難情報の判断・伝達マニュアルの点検・更新【6月】</p> <p>③業務ごとの災害時マニュアルや業務継続計画の点検・更新【上半期】</p> <p>④豊能地区3市2町合同防災訓練の実施【11月予定】</p> <p>⑤避難所開設訓練の実施【2月】</p> <p>(2) 避難所の環境改善等を図ります。</p> <p>①備蓄物資の整備【上半期】</p> <p>②避難所の環境改善【通年】</p> <p>(3) 災害リスクを踏まえた避難のあり方について市民周知を行います。</p> <p>①総合ハザードマップの点訳版・音訳版の作成・配布【上半期】</p> <p>②洪水・高潮避難ビルの指定【随時】</p> <p>(4) 関係部局とともに、豊中市強靱化地域計画の進行管理【通年】</p> <p>(5) デジタル技術等を活用した災害対応力強化します。</p> <p>①被災者台帳デジタル化の推進【通年】</p> <p>②旧猪名川に河川監視カメラを設置【上半期】</p>		
総合計画			
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。		
基本政策			
	20 避難所の環境整備	26	強靱なまちづくりの推進
	31 神崎川駅周辺の整備	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域における防災活動の支援と市民一人ひとりの防災意識の向上</p> <p>(1) 小学校区単位での自主防災組織の結成を促進するとともに、既に活動が行われている校区への支援を継続します。 ①校区自主防災組織の未結成校区への結成支援【通年】 ②校区自主防災組織活動助成金の支給【通年】 ③校区自主防災組織連絡会議の開催【必要に応じて】</p> <p>(2) 地域の実情や立地特性に応じた自主防災活動の充実・強化を図るために、とよなか防災アドバイザーを地域に派遣します。 ①とよなか防災アドバイザー派遣制度の運用促進【通年】 ②南部地域を中心とした浸水地域でのハザードマップの周知及び地域の防災マップやコミュニティタイムラインの作成支援【通年】</p> <p>(3) 適切な避難行動等が行われるように、災害時における情報の入手方法や市の対応など事前に具体的な情報の発信を行い、マイ・タイムラインの普及啓発を行います。 ①広報紙での啓発特集記事の掲載【5月】 ②自主防災組織、自治会等を対象とした出前講座の実施【随時】 ③防災市民講座・防災パネル展の開催 【2月:防災市民講座】 【8月・1月:防災パネル展】 ④動画配信による市民啓発【通年】</p> <p>(4) 次世代の防災リーダーを育成するため、学生を対象とした防災講座等を実施します。 ①高校生を対象とした、防災講座の企画実施による防災意識の育成【9月】 ②小学校6年生全員を対象にした防災啓発(備蓄物資(アルファ化米)の配布)の実施【2月】</p>	<p>○地区防災圏自主防災活動の支援として、13団体(継続支援)に補助金を交付しました。 ○自主防災活動団体連絡会議を開催し、意見交換を行いました。 ○野田校区において、防災マップ及びコミュニティタイムライン作成の支援を行いました。 ○広報とよなかで出水期を前に防災チェックシート等を掲載するとともに、ホームページによる啓発を行いました。 ○校区自主防災組織等に対して、とよなか防災アドバイザー派遣、防災出前講座の実施、防災訓練の支援を行いました。 ○学生対象防災講座では、市立桜井谷小学校のPTA及び児童を対象に防災教室を開催しました。</p>	<p>○洪水や高潮での浸水が想定される南部地域を重点に、浸水リスクの周知を行います。 ○災害時において、市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、具体的、実践的な情報を発信し、洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画となるマイ・タイムラインの普及啓発を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>19 避難誘導の充実</p>	22	地域防災力の向上

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>避難行動要支援者の避難支援体制の構築</p> <p>(1) 民生・児童委員、校区福祉委員会だけでなく、地域自治組織や自主防災組織など、様々な地域団体が協力・連携して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、地域の体制を強化します。</p> <p>①避難行動要支援者名簿システムの運用【通年】</p> <p>②各校区での避難行動要支援者名簿を活用した図上・実働訓練の指導【6月・11月:名簿提供】</p> <p>③要配慮者支援対策会議を開催【随時】</p> <p>④避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)の見直し【通年】</p> <p>⑤個別避難計画の作成に向けた取組みを推進【通年】</p> <p>⑥災害時の要援護者支援にかかるデジタル技術の活用について、引き続き、情報収集及び検討【通年】</p>	<p>○避難行動要支援者対策としては、名簿を更新し、避難支援等関係者に対し、年2回提供しました。また、福祉部と連携し、地域が実施する訓練の支援を行いました。</p> <p>○要配慮者支援対策会議等を開催し、取組みの方向性を確認しました。</p> <p>○避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)を改正しました。</p> <p>○モデル校区に選定した野田及び北丘校区において、相談支援専門員等を対象とした研修会を実施し、個別避難計画の作成に係る検討を行いました。</p>	<p>○引き続き、様々な地域団体が協力して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、避難支援体制の構築を図ります。</p> <p>○福祉部と連携し、個別避難計画の作成を進めます。</p> <p>○災害時の要援護者支援にかかるデジタル技術の活用について、引き続き、情報収集及び検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>19 避難誘導の充実</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>地域における自主的な防犯活動の支援</p> <p>(1) 通学路を中心に市内の各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラ等の管理・運用を行います。</p> <p>①駅前防犯カメラ及び暮らし安心・安全見守りカメラの管理・運用【通年】</p> <p>②犯罪等の未然防止及び早期解決に繋ぐための捜査機関への画像データ提供対応【随時】</p> <p>(2) 地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p> <p>①豊中市安全なまちづくり推進協議会の開催【6月】</p> <p>②青色回転灯防犯パトロール活動団体並びに豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対する防犯活動支援助成金の交付【通年】</p> <p>(3) 令和5年度以降に予定する見守りカメラ及び駅前カメラの更新に向けた準備を進めます。</p> <p>①取り組みの検証【下半期】</p>	<p>○犯罪の早期解決のため見守りカメラ等の画像データを捜査機関に提供しました。また、画像データの提供にあたっては、申請内容を厳格に審査し、適正な運用を行いました。</p> <p>○自治会に対する防犯カメラ設置補助を行いました。</p> <p>○豊中・豊中南警察署と調整を図り、豊中市安全なまちづくり推進協議会を開催しました(感染予防のため書面による開催)。</p> <p>○豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対し、自発的な防犯活動を支援するため、助成金を交付しました。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けて、防犯に関するアンケートを実施するなど検証を行いました。</p>	<p>○引き続き見守りカメラ等の運用を行い、市域の安全・安心を推進します。</p> <p>○豊中・豊中南防犯協議会、両警察署と連携し、地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けた各種調整を行います。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-② 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 危機管理課の使命を遂行するための取組方針に基づき行動する職員を育成し、組織としての仕事の質・成果の向上につなげます。</p> <p>①多様な主体との連携や市民起点で活動する職員を育成するため、積極的に防災出前講座、防災訓練等に職員を派遣</p> <p>②毎月実施の課内ミーティングにおいて、それぞれ担当職員が業務の進捗を報告 ※すべての職員が課のマネジメントに参加</p> <p>③危機管理課の業務に限らず、広く自治体業務に関わる研修の受講を勧め、職員のキャリアを育成</p> <p>④在課年数の長い職員によるマンツーマン指導【通年】</p>	<p>○市民起点で活動する職員を育成するため、防災出前講座、地域が主体的に行う防災訓練等の対応を5名体制に拡大し、ローテーションで対応に当たりました。</p> <p>○月例課内ミーティングを通じて人材育成を図りました。</p>	<p>○引き続き、多様な主体との連携や市民起点で活動する職員の人材育成に努めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>0-0-0</p>		
	<p>基本政策</p> <p>65 職員力を高める人材育成等の推進</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)		
1	<p>災害対応力の強化</p> <p>(1) 適宜、地域防災計画や各種マニュアルを改正するとともに、災害対応の研修・訓練などを実施することにより、職員の災害対応能力を強化します。</p> <p>(2) 避難所の環境改善等を図ります。</p> <p>(3) 浸水害が想定される南部地域において、浸水想定深を市民に周知するとともに、避難に時間的な余裕がない場合における緊急避難場所として洪水・高潮避難ビルの指定を進めます。</p> <p>(4) デジタル技術を活用して、避難行動に必要な情報収集や発信を行い、災害対応力強化を図ります。</p> <p>(5) 関係部局とともに豊中市強靱化地域計画を推進します。</p>	<p>(1) マニュアル等の改正・職員の訓練等【通年】</p> <p>(2) 備蓄物資の増量 令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)</p> <p>(3) 避難所の環境改善 令和4年度(2022年度)～令和7年度(2025年度)</p> <p>(4) 旧猪名川への河川監視カメラの設置 令和4年度(2022年度)</p> <p>(5) 被災者台帳のデジタル化 令和5年度(2023年度)</p>		
	総合計画			
	2-4-①	防災力の充実強化を図ります。		
	基本政策			
20	避難所の環境整備	26	強靱なまちづくりの推進	
31	神崎川駅周辺の整備	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進	
2	<p>地域の防災力の向上</p> <p>(1) 市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、小学校区単位の自主防災組織が全校区で結成されることをめざします。</p> <p>(2) 防災アドバイザーを地域に派遣し、災害種別や地域の立地特性に応じた防災支援を行い、自主防災組織等地域の防災力を強化します。</p> <p>(3) 水害から命を守るためのコミュニティタイムライン、マイ・タイムラインの普及啓発を進めます。</p> <p>(4) 避難行動要支援者の避難支援においては、地域における避難支援体制の強化を図るとともに、個別避難計画の作成を進めます。</p> <p>(5) 子どもへの防災啓発を進めます。</p>	<p>(1) 地区防災圏自主防災組織の新規促進及び継続支援 継続して実施</p> <p>(2) 防災アドバイザーの派遣による自主防災組織等への防災啓発 継続して実施</p> <p>(3) 福祉部と連携した防災・福祉ささえあいづくり推進事業 避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)の見直し 令和4年度(2022年度) 名簿提供と訓練支援【通年】 個別避難計画の作成支援 令和3年度(2021年度)～令和6年度(2024年度)</p>		
	総合計画			
	2-4-①	防災力の充実強化を図ります。		
	基本政策			
19	避難誘導の充実	22	地域防災力の向上	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>地域の防犯力の向上</p> <p>(1) 通学路を中心とする市内各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラなどを適切に管理・運用するとともに、地域における自主的な防犯活動を支援することにより犯罪のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>(2) 暮らし安心・安全見守りカメラ等については、この間の取り組みを検証し、更新に向けた作業を進めます。</p>	<p>(1) 見守りカメラ、駅前カメラの維持管理 継続して実施 更新準備 令和4年度(2022年度)～令和5年度(2023年度) 更新 令和7年度(2025年度)</p> <p>(2) 防犯協議会の活動支援 継続して実施</p>
	総合計画	
	2-4-②	犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。
基本政策		
0		